オーダーメイド式耳あな型補聴器 **耳あな型ミロ プラス**

Milo Plus CIC/MC
Milo Plus ITC/HS dAZ
Milo Plus FS dAZ, FS P dAZ

取扱説明書

■はじめに

この度はフォナック社の補聴器をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

■安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂くことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次ように区分し、説明しています。

警告	この表示がある項目は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示がある項目は、「損害を負う可能性、または物的損傷のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容を次のように表示し、説明しています。

禁止	この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■ご使用にあたって

禁止

- 音量を大きくしすぎないで下さい。
- 騒がしいところでは音量を小さめにするか、長時間使用しないようにしてください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにしてください。
- 補聴器は医療機器ですので、分解や改造はしないでください。
- レントゲン撮影、CT スキャン等の画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼします。これらの機器を用いた撮影を受ける前には補聴器を外し、撮影室の外に置くことをお勧めします。
  また MRI スキャンは強い磁力を用いますので、MRI 室に入る前には必ずお外し下さい。
- 過度の湿気や温度を避けて下さい。特に夏の時期、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。

・補聴器の内部に水が入ると故障する恐れがあります。水にぬらさないで下さい。
（例：お風呂に入るときは必ずはずして下さい。）
・電池は火中に投げ入れないでください。

警告

ペットのそばや子どもの手の届くところに保管しないで下さい。万が一、誤って電池を飲み込んでしまった場合、ただちに医師にご相談ください。

注意

・指向性マイクロホンを搭載した機種は、主に背後から来る音を抑えます。そのため、装用者の背後に近づく車の音や背後で鳴るクラクション（警告音）が聞こえにくいことがあります。
・補聴器を使用しない場合は電池を取り出してください。そして湿気を取り除くために電池ホルダーを開けたままの状態で乾燥ケースの中に保管してください。
・ご使用になるまでは電池のシールをはがさないでください。ご使用の際にシールをはがし、30 秒ほど待ってからご使用ください。
・使用済みの電池は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
・ご不要になった補聴器は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
・汗、湿気、皮脂、耳垢、整髪料などが補聴器内部に入ると故障する恐れがありますので、ご使用後はお手入れを行ってください。

■ご使用になる前に

- 補聴器は聞こえを元にもどすものではなく、聴力を補う機器です。
- 使い始めは音量を小さめにして、慣れてきたら徐々に音量を調整してお使いください。
- 補聴器はお客さま専用に調整されています。他の人に貸したり、他の人の補聴器を装用しないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、場合によっては耳を傷めたりする恐れがあります。
- 耳を治療中の方、治療をしたことがある方は主治医にご相談ください。
- 聴力の変化に伴い、補聴器の再調整が必要になる場合があります。聴力測定を年に一度はお受けになることをお勧めします。

注意

下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医にご相談ください。

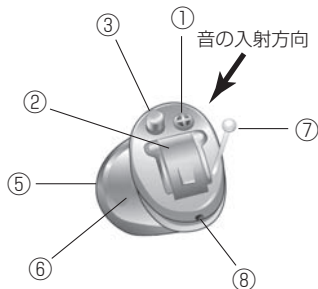
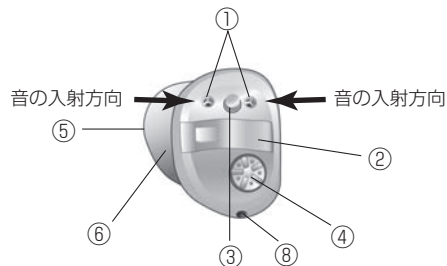
- 耳の治療中の方、耳の中や耳の後の痛みまたは炎症がある場合
- 過去 90 日以内に耳だれがあった場合
- 過去 90 日以内に突発性または進行性の聴力低下があった場合
- 過去 90 日以内に左右どちらかの耳に聴力低下があった場合
- 急性または慢性のめまいがある方

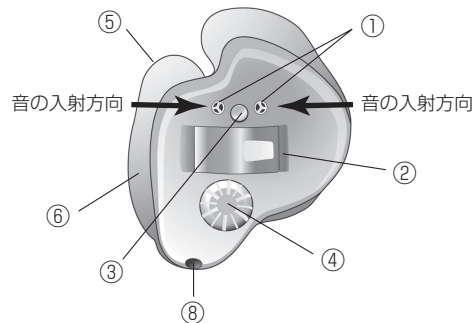
下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止し、耳鼻咽喉科医または販売店へご相談ください。

- 耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ・湿疹等が出た場合
- 耳だれが出てきた場合
- 耳の治療が必要になった場合
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思える場合

■目次

■各部の名称

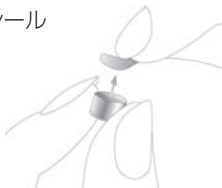
ミロ プラス CIC/MC
電池サイズ：PR536（10A）

ミロ プラス ITC/HS dAZ
電池サイズ：PR41（312）

ミロ プラス FS dAZ, FS P dAZ

電池サイズ：PR48（13）

①マイクロホンの音口（指向性タイプにはマイクロホンが 2 つ）
②電池ホルダー（電源の入 / 切機能付）
③プログラムスイッチ *
④ボリュームコントロール **
⑤レシーバ（音の出口）
⑥オーダーメイドシェル
⑦取り出しテグス
⑧ベント

* オプションで取り外し可能
（CIC の標準はプログラムスイッチ無）

** オプションで取りつけ可能

■電池の交換方法

1. 新しい電池の保護シール
をはがします。
シールが貼ってある
側が（+）面です。

2. 電池ホルダーを開け、使用済みの電池を
取り出します。

3. 新しい電池を入れます。電池の（+）面
と電池ホルダーの+マークが同じ方向に
なるようにあわせます。

4. カチッと閉まるまで、電池ホルダーを
ゆっくり押します。

⚠注意事項

・電池ホルダーは丁寧に扱い、無理な力を加えないでください。

・電池ホルダーがうまく閉まらない場合には、電池が正しく収納されているか確認してください。電池がプラスマイナス逆向きに収納されている場合、きちんと閉まりません。

電池寿命お知らせ音
電池がなくなりかけると、お知らせ音（ピー、ピー）が鳴りますので、電池を新しいものに交換してください。（電池が使用できなくなる約 30 分前に鳴りますが、補聴器の使用状態によって異なります。）

■補聴器の使い方

電源を入れる方法：電池ホルダーを閉める

電源を切る方法：電池ホルダーを開ける

ポイント

電源を入れると、補聴器はあらかじめ調節された音量とプログラムに自動的に設定されます。

注　意

スタートアップの遅延が設定されている場合電源を入れてから数秒後に一瞬音が出た後再び無音になり、その後約 9 秒または 15 秒後に動作します。

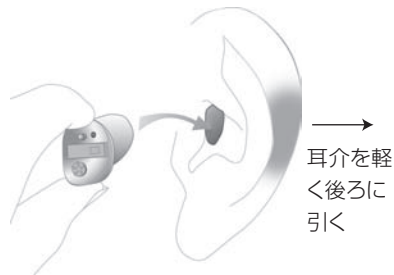
補聴器を耳に装用する方法

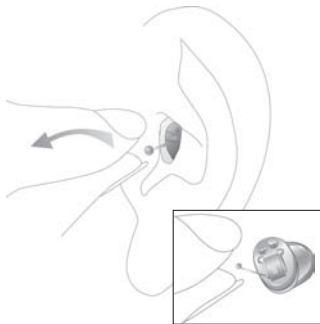
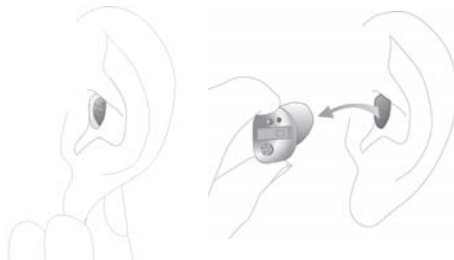
装用の前に

左耳用・右耳用がございますので左右をご確認ください。

左耳用：青色

右耳用：赤色

1. 補聴器本体を図のように持ち、耳穴の後ろの耳介部分を軽く後ろに引きながらゆっくり入れます。入りにくい場合は、販売店にご相談ください。

補聴器を耳から外す方法：

テグス付の場合：
テグスを持ってゆっくり取り出します。

テグスがない場合：
耳たぶを図のように持ち、耳たぶの後から親指で補聴器を押し上げます。少し出たら、補聴器をつかんでゆっくり取り出します。

音量の調節方法

音量を上げるには：
ボリュームコントロールを
前の方に回転させます。

音量を下げるには：
ボリュームコントロールを
後の方に回転させます。

音量が最大限に達した場合と最小限に達した場合は、ビープ音が 2 回（ピポッ）鳴ります。
最大限と最小限の真ん中の値で、ビープ音が 1 回（ポッ）鳴ります。

プログラムの切り替え方法

プログラムスイッチを押すたびにプログラムが切り替わり、切り替わる時に確認音が鳴ります。
プログラム設定している場合、手動で切り替えることが可能です。

注　意

プログラムスイッチの位置はお客様によって異なる場合がございます。

プログラム設定表

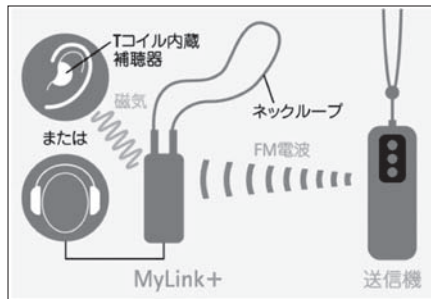
プログラム	設　定　内　容	確認音※3
プログラム 1		“ピ”（・）
プログラム 2		“ピピ”（・・）
プログラム 3※1		“ピピピ”（・・・）
プログラム 4※1		“ピポポ”（．・・）
ミュート※2		確認音なし

※1 プログラム 3 と 4 には T コイル , T コイル+マイク , FM, FM+マイクの何れかのプログラムのみが選択可能です。

※1 ミュート（無音）を選択している場合、音は聞こえませんが、電池は消耗しています。

※2 確認音は消すことも可能です。（プログラム 1～プログラム 4）

FM システム（別売）

話し手と聞き手の距離が離れた場所や周囲が騒がしい場所など、補聴器だけでは聞き取りが困難な環境があります。
FM システムは話し手の声をマイクロホンでキャッチし、FM 電波（169MHz 帯）によって聞き手に快適な聞こえを提供する補聴援助システムです。FM システムは送信機と受信機が必要です。
CIC 以外の耳あな型のミロ プラスには T コイルが標準装備されています。受信機として T コイルを利用する首かけ型の MyLink+（マイ・リンク・プラス）が使用できます。FM システムを使用する場合、T コイル用のプログラムに切り替えて使用します（例 ：MT）。

受信機 MyLink+ は送信機からの FM 電波を受信し、磁気で補聴器に音声を届けます。

FM 送信機

製品名	インスパイロ inspiro	ズーム・リンク・プラス ZoomLink+	イージー・リンク・プラス EasyLink+
写真			
特徴	学校生活用にデザインされた送信機です。言語獲得中の子どもに最適です。日本語表示で操作も簡単です。	ビジネスやプライベートで使用できるおとな向け送信機です。話し手の首にかけて使用します。指向性の切り替えができるマイクロホンを搭載しています。	ビジネスやプライベートで使用できるおとな向け送信機です。話し手の首にかけて使用します。ボタン1つで扱え、操作が簡単です。

FM システム使用手順

MyLink+

切り替え方法	プログラムスイッチ操作による手動切り替え
手　順	1. T コイル用プログラムを補聴器に設定します。 2 プログラムスイッチで T コイル用プログラムに切り替えます。 3. MyLink+ の電源をオンにします。

■ご使用後のお手入れ方法

補聴器を長くお使いいただくために、日ごろからのお手入れをお勧めします。

1. 補聴器本体から電池を取り出します。

2. ティッシュペーパーや柔らかい布で、補聴器本体と電池についた汗や汚れを拭き取ります。

3. 耳垢が音口部にたまると故障の原因となることがあります。付属のブラシで音口部を下に向けて掃除してください。

注　意

補聴器をお手入れする際に、家庭用洗剤（石鹸、洗剤粉等）は絶対にご使用にならないでください。

■補聴器の保管

（乾燥ケースを使用される場合）
電池ホルダーを開けたまま補聴器を乾燥ケースに入れて下さい。

注　意

補聴器から必ず電池を取り出してください。
補聴器から取り出した電池は電池寿命が短くなりますので乾燥ケースにいれないようにしてください。

■初めてお使いになる方に

第一段階

初めは静かな家の中等で使用し、補聴器をつけることに慣れて下さい。最初は自分の声に違和感がありますが、本などを声に出して読んだりして違和感がなくなるまで練習します。練習は10分ほどから始めて徐々に長くしますが、疲れたらすぐ休んでください。

第二段階

静かな部屋で、身近な人と一対一で話す練習をしましょう。

第三段階

複数の身近な人と話をする練習をします。どの人が話をしているか聞き分けてみましょう。

第四段階

慣れてきたら、外で聞く練習をします。

注意:補聴器の音が小さかったり、周囲の音が大きく感じたら販売店にご相談ください。補聴器の再調整が必要となります。

■故障かと思われたときは

補聴器が聞こえづらくなったときは、まず下記のようにお調べください。

1 電池がなくなっていませんか?
→ はい → 新しい電池に交換してください。
(3〜4ページ)

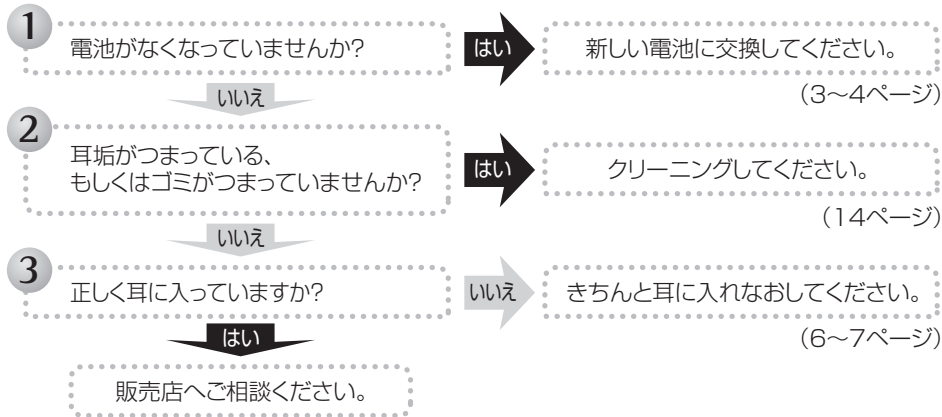
↓ いいえ

2 耳垢がつまっている、
もしくはゴミがつまっていませんか?
→ はい → クリーニングしてください。
(14ページ)

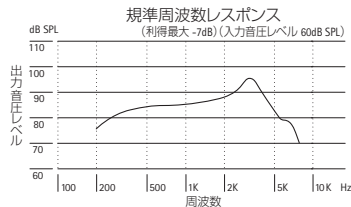
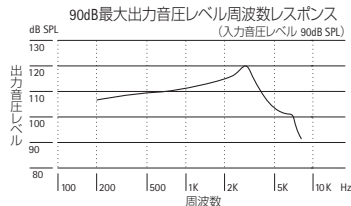
↓ いいえ

3 正しく耳に入っていますか?
→ いいえ → きちんと耳に入れなおしてください。
(6〜7ページ)

↓ はい

販売店へご相談ください。

■仕様・性能（ミロ プラス CIC/MC）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

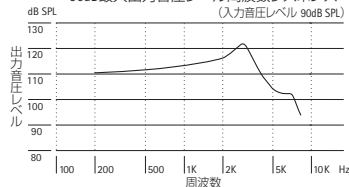
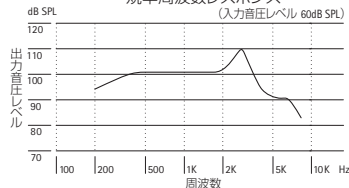
適応聴力範囲：	軽度〜中等度
規準周波数：	1600 Hz
最大音響利得：	34 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル：	115 dB ±5 dB（1600Hz） 127 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル：	35 dB SPL 以下
全高調波ひずみ：	500 Hz 4.0% 以下 800 Hz 3.0% 以下 1600 Hz 3.0% 以下
電池の電流：	1.30 mA 以下
使用電池：	PR536（10A）
電池寿命：	75〜100時間
利得調整器：	可変幅 ±6 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 10 段階 可変幅 −30 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 15 段階

*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。

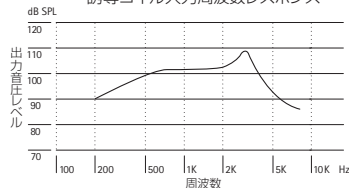
■仕様・性能（ミロ プラス ITC/HS dAZ）

* 本データは JIS C 5512：2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

適応聴力範囲：軽度～中等度
規準周波数：1600 Hz
最大音響利得：48 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル：115 dB ±5 dB（1600Hz）
127 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル：30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ：500 Hz 4.0% 以下
800 Hz 4.0% 以下
1600 Hz 4.0% 以下
電池の電流：1.30 mA 以下
使用電池：PR41（312）
電池寿命：90～130時間
誘導コイルの感度：82 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定
利得調整器：可変幅 ±6 dB の場合
約 2.0 dB ずつ 3 段階
可変幅 ±10 dB の場合
約 2.0 dB ずつ 5 段階
可変幅 −20 dBの場合
約 2.0 dB ずつ 10 段階
可変幅 −30 dBの場合
約 2.0 dB ずつ 15 段階

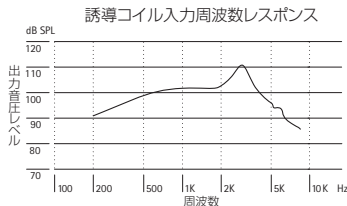
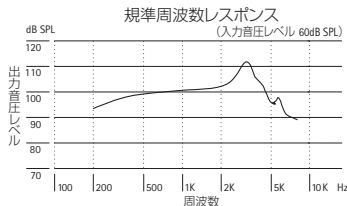
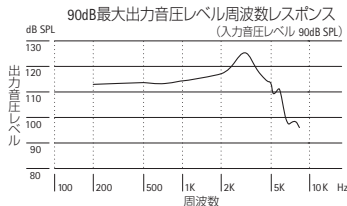
*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。

90dB最大出力音圧レベル周波数レスポンス

規準周波数レスポンス

誘導コイル入力周波数レスポンス

■仕様・性能（ミロ プラス FS dAZ）

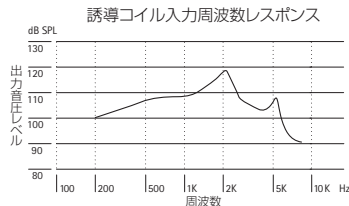
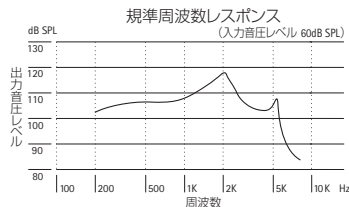
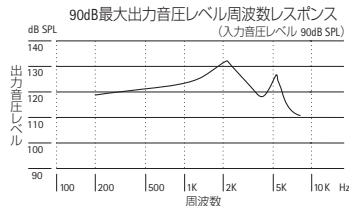
*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定･表示してあります。

適応聴力範囲：	中等度
規準周波数：	1600 Hz
最大音響利得：	50 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル：	117 dB ±5 dB（1600Hz） 129 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル：	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ：	500 Hz 4.0% 以下 800 Hz 3.0% 以下 1600 Hz 3.0% 以下
電池の電流：	1.80 mA 以下
使用電池：	PR48（13）
電池寿命：	140～220時間
誘導コイルの感度：	81 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定
利得調整器：	可変幅 ±6 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 10 段階 可変幅 −30 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 15 段階

*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。

■仕様・性能（ミロ プラス FS P dAZ）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定･表示してあります。

適応聴力範囲：	高度〜重度
規準周波数：	1600 Hz
最大音響利得：	57 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル：	129 dB ±5 dB（1600Hz） 137 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル：	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ：	500 Hz 4.0% 以下 800 Hz 3.0% 以下 1600 Hz 3.0% 以下
電池の電流：	1.80 mA 以下
使用電池：	PR48（13）
電池寿命：	140〜220時間
誘導コイルの感度：	90 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定
利得調整器：	可変幅 ±6 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 10 段階 可変幅 −30 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 15 段階

*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。

■アフターサービス

1.保証書(別途添付)

必ず「販売店名」、「お買い上げ日」、などの記載をお確めになり、大切に保管してください。

2.修理について

保証書を一緒に販売店へお持ちください。保証書に記載された内容に応じて修理いたします。

3.その他

アフターサービスなどについてのご不明な点は、お求めの販売店までお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2010年10月現在のものです。各製品の仕様は予告なく変更される場合がございます。